



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <https://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,474	△1.7	56	30.7	64	28.1	34	55.2
2020年3月期第2四半期	3,536	△1.1	43	86.5	50	72.4	21	645.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 48百万円 (65.2%) 2020年3月期第2四半期 29百万円 (266.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.04	—
2020年3月期第2四半期	15.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,790	2,235	59.0
2020年3月期	3,987	2,193	55.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,235百万円 2020年3月期 2,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,123	0.0	60	△19.4	74	△19.1	20	△45.7	14.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	1,470,000株	2020年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	50,301株	2020年3月期	50,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	1,419,699株	2020年3月期2Q	1,419,699株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全世界での新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞や個人消費の低迷により、依然として極めて厳しい状況で推移いたしました。政府の政策により、消費活動の持ち直しの動きも見られますが、今後も引き続き国内外の感染の動向による影響に留意が必要な状況となっております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においても、引き続き一部のSSにおいて時短営業や集客を目的とした様々なキャンペーンの自粛及び中止、燃料を給油する以外の作業を伴うカーケアサービスの自粛により、カーケア収益に影響を及ぼしました。

このような環境のもと、当社グループはSSと従業員の安全を最優先に考え、マスクの着用、除菌剤の設置、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルスの感染予防及び感染拡大防止策に努めながら、ライフラインであるSSに対し営業活動を継続してまいりました。カーケア関連商品の売上につきましては、6月以降回復の兆しが見られたものの依然として厳しい状況で推移しました。このような状況において、以前から推進していた戦略的営業体制は、コロナ禍においてもゆるぎない効果を発揮し、変化した市場に対し迅速かつ柔軟に対応した提案活動は、ウイルス感染予防のための防疫商材、販売促進のための看板等告知物のような新たな商機を生み出し、予想以上の成果を上げました。また、販売費および一般管理費におきましても、効率営業は効果を上げております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,474百万円(前年同期比 1.7%減)、営業利益 56百万円(前年同期比 30.7%増)、経常利益 64百万円(前年同期比 28.1%増)、法人税等 30百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 34百万円(前年同期比 55.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 2,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ 199百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 252百万円減少したことと、受取手形及び売掛金が 79百万円増加したこと等によるものです。固定資産は 1,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が 20百万円増加したことと、繰延税金資産が 8百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 3,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ 196百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は 1,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ 146百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 24百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 78百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 474百万円となり、前連結会計年度末に比べ 91百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 90百万円減少したことと、退職給付に係る負債が 5百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 1,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ 237百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ 41百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が 27百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が 14百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は 59.0%(前連結会計年度末は 55.0%)となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ252百万円減少し、1,264百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は76百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益64百万円、売上債権の減少85百万円、未払消費税等の減少27百万円、法人税等の支払額26百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は16千円です。これは主要因として貸付けによる支出1百万円、貸付金の回収による収入2百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は176百万円です。これは主要因として長期借入金の返済による支出169百万円等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による厳しい環境の中、戦略的営業体制により営業利益以下は予想を上回りましたが、上期に集中した傾向があり、下期の反動も予測されることや、経済活動の回復の遅れなどが懸念されることから、連結業績予想につきましては、2020年7月28日付「2021年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期業績予想数値から変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,333	1,286,440
受取手形及び売掛金	933,129	1,012,463
商品及び製品	390,432	379,869
その他	60,225	45,128
貸倒引当金	△108	△106
流動資産合計	2,923,012	2,723,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	799,259	799,259
減価償却累計額	△744,395	△746,728
建物及び構築物(純額)	54,863	52,530
機械装置及び運搬具	1,092	1,092
減価償却累計額	△967	△976
機械装置及び運搬具(純額)	124	115
土地	480,711	480,711
その他	134,899	134,701
減価償却累計額	△119,532	△122,268
その他(純額)	15,366	12,432
有形固定資産合計	551,066	545,790
無形固定資産		
のれん	66,592	64,511
その他	3,352	2,418
無形固定資産合計	69,945	66,930
投資その他の資産		
投資有価証券	124,049	144,687
差入保証金	294,273	294,021
繰延税金資産	10,531	2,391
その他	16,989	15,784
貸倒引当金	△2,663	△2,663
投資その他の資産合計	443,181	454,220
固定資産合計	1,064,193	1,066,941
資産合計	3,987,205	3,790,736

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,249	713,215
1年内返済予定の長期借入金	327,041	248,486
未払法人税等	37,578	38,373
賞与引当金	13,368	13,454
その他	111,384	66,941
流動負債合計	1,226,622	1,080,470
固定負債		
長期借入金	239,642	149,123
役員退職慰労引当金	44,610	48,500
退職給付に係る負債	257,077	251,908
繰延税金負債	21,495	21,495
その他	3,760	3,760
固定負債合計	566,584	474,786
負債合計	1,793,206	1,555,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	243,501	270,536
自己株式	△47,732	△47,732
株主資本合計	2,195,073	2,222,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,074	13,370
その他の包括利益累計額合計	△1,074	13,370
純資産合計	2,193,999	2,235,479
負債純資産合計	3,987,205	3,790,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,536,408	3,474,620
売上原価	2,688,710	2,640,204
売上総利益	847,698	834,416
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	390,817	386,721
賞与引当金繰入額	13,265	13,454
役員退職慰労引当金繰入額	3,940	3,940
退職給付費用	9,323	9,080
その他	387,085	364,650
販売費及び一般管理費合計	804,431	777,846
営業利益	43,266	56,570
営業外収益		
受取利息	803	811
受取配当金	986	863
仕入割引	5,580	6,359
貸倒引当金戻入額	398	1
その他	1,884	1,582
営業外収益合計	9,653	9,618
営業外費用		
支払利息	2,086	1,290
手形売却損	314	231
その他	183	188
営業外費用合計	2,584	1,710
経常利益	50,336	64,479
税金等調整前四半期純利益	50,336	64,479
法人税、住民税及び事業税	23,434	28,106
法人税等調整額	4,909	2,239
法人税等合計	28,343	30,345
四半期純利益	21,993	34,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,993	34,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	21,993	34,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,406	14,445
その他の包括利益合計	7,406	14,445
四半期包括利益	29,399	48,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,399	48,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50,336	64,479
減価償却費	7,330	6,703
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△398	△1
のれん償却額	2,081	2,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,439	86
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,045	△5,168
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,940	3,890
受取利息及び受取配当金	△1,790	△1,675
支払利息	2,086	1,290
売上債権の増減額(△は増加)	3,276	△85,074
たな卸資産の増減額(△は増加)	229,581	10,459
その他の流動資産の増減額(△は増加)	83,474	6,222
差入保証金の増減額(△は増加)	△1,014	△36
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,992	△13,923
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△6,987	△11,357
未収消費税等の増減額(△は増加)	9,345	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,520	△27,391
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△31	△861
小計	285,273	△50,279
利息及び配当金の受取額	1,265	1,167
利息の支払額	△2,021	△1,214
法人税等の支払額	△23,619	△26,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,897	△76,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△318	△291
貸付けによる支出	△2,000	△1,560
貸付金の回収による収入	2,079	2,001
差入保証金の差入による支出	△217	△134
差入保証金の回収による収入	105	—
その他	648	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	297	16
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△237,952	△169,074
配当金の支払額	△7,261	△7,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,213	△176,133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,981	△252,893
現金及び現金同等物の期首残高	1,421,330	1,517,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,437,312	1,264,440

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。